推薦の言葉

プロダンサー・元世界チャンピオン
ルカ・バリッキ
Luca Baricchi

「私達は教えられます、貴方は学び取れますか？」
"We can teach, can you learn?"

今日（２００３年12月13日）、栢野さんと「身体操作とバランス」について改めて意見交換して、彼の考え方がとても興味深く思えました。

話をしている間、いくつか彼の言う動きを行ってみましたが、とてもスムーズに身体を動かすことができ、彼の考えに共感を覚えました。

栢野さんの「骨格をリンクさせて球体軌跡が描き出されるように操る」という発想は柔らかく連動した動きを作ることで、まさにバランスのとれた動きを作り出す助けになっていると感じました。

ルカ・バリッキ。9歳のときにイタリアでデビュー。すべてのメジャータイトル、ジュニア、青年、そしてアマチュアの選手権を制覇した後、プロとなりロンドンに移る。プロダンサーになった最初の年には世界ランキング12位。二年目には5位。そして、1994年にダンス・私生活を共に過ごすロレインとパートナーを組み、カップルとして世界ランキング2位となった。1994年から1998年の間、ルッカとロレインは世界選手権で2位を維持。1999年～2000年／2001年にはメジャータイトル、世界選手権ともに1位を勝ち取る。2001年の終わりに、多くの優秀な成績を残し引退。

プロダンサー ルカ・バリッキ
Luca Baricchi

私はダンスを教える時、体重移動とバランスを維持している中での関節の動きを通じて、常に「ムーブメント」と「モーション」の違いをしっかりと理解してもらうようにしています。

球体軌跡が描き出されるように操り、その球体の場所を理解することはとても論理的です。

栢野さんは「三つの球体を操るというところが大きなポイントで、三つあるから軸を自由にたわませて操れる。球体が描き出されてくるように互い違い操作をすることによって軸が立つ。軸を立てて動くという感覚ではなく、軸を発生させるような身体操作が理想と考えています」と表現していますが、私も同感です。

最初に基本動作を試したとき、理論は理解できていたのですが、それらをダンスにどうつなげていくのかが確かではありませんでした。しかし、三次元的に融合して動かせるように発展させていくという動きを見て、球体操作に意識を集中していくと、私が自然に行っている動きとの共通点が見えてきました。

ダンスに活かしていくには、たとえ球体操作が理論的であったとしても、頭

で考えて動くのではなく感覚で動くということがもっとも重要だと感じています。体の動きはハートとムードにとても影響されますから……。私の生徒さんの多くが感覚やバランスを感じながらではなく、理屈や理論で動いています。

栢野さんの身体操作の大きなポイントは、筋肉で操作するという感覚ではなく、骨格を操作（関節を操作）し、アンバランスを利用して釣り合い動くという感覚であり、これはストレートに納得できました。というのも、私は常々「ウエイトコントロール・ウエイトチェンジ・ウエイトムーブメント、そして関節の使い方」を教え、それを向上させていこうとしているからです。

私の生徒さんの多くはプロダンサーです。プロになったからこそ、もっと視野を広げて自分のダンスを高めていく取り組みをして欲しいと思っています。私は身体操作に関する情報のみならず、すべての情報に対して常にオープンです。いろいろと情報を入手しながら、ダンスを高めていく要素を見つけ出して吸収したいと思っています。

このような私のダンスの考え方を求めて、私のレッスンを受けに来てくれる日本のダンサーは多くいます。その方々のほとんどは、残念ながら私が伝えた

い本質をつかんでくれていません。どうしても力で構えて、力で動こうとします。強く見せようと表面を作ってもいます。ですから、来日してティーチングして少しは変わったかなと思っても、次に来日したときには元に戻っていてとても残念です。

ダンスは身体の表面で踊るのではなく、内面から湧き出す力によって踊るのです。そこに美しく力強い芸術的なダンスが体現できてくると考えています。今までの自分に執着するのではなく、もっと視野を広げてさらに高いところを目指してもらいたいと思っています。

栢野さんと私の身体操作の考え方はとても似ていると確信できるものですから、私の生徒さんたちには彼の助けを借りながら、学び、成長してほしいと思っています。

私達の知識はすべてのプロダンサーの発展、そして芸術的なダンスのレベルを上げることの手助けになると信じています。

何人かの私の生徒さんが栢野さんのレッスンを受けているそうですが、感覚を閉ざしているためエクササイズを難しく考えてしまうようです。すべての人に認識して欲しいのは、私達の話を聞くだけではなく、実行し、吸収する人こそが一番の高みへと行けるということです。

「私達は教えられます、貴方は学び取れますか？」

身体にやさしくハイパフォーマンスをも体現できる身体の動かし方を伝えようとしている栢野さんと協力できることは大変光栄です。栢野さんの伝えている身体操作法はダンスのみでなく、すべてのスポーツや生活動作の基本ともなると感じます。

人生とはバランスを見つけること……

人の身体はバランスの中で動かなければならない……